

財団からのお知らせ

新刊紹介

光と闇の生き物図鑑

—ブラックライトで光る美しい生命たち—

眼遊 (著) / B5変形判, 2026.02 / KADOKAWA / 本体3,000円+税

ブラックライトによって照らし出される、生き物たちの驚くべき姿の蛍光生物を収録した写真集。ブラックライトが当たることで、普段は見られない蛍光する姿が、元の姿の写真とともに紹介されている。大人から子供まで楽しむことができ、生物の不思議で新しい一面を見ることができる。

本書は水棲の無脊椎動物（イソギンチャクやウミウシ類、ゴカイやケヤリムシのような環形動物の仲間、ワレカラなどの甲殻類など）を含む動物から植物まで生物の蛍光の写真が掲載されていて、新しい視点を与えてくれる興味深い一冊となっている。



イベント案内

親子で楽しむ海の生き物わくわくウォッチング2026

観音崎自然博物館にて毎年行っている観察会です。大人から子供まで海の生物を楽しめるイベントで、グループから大人お一人でも参加いただけます。ウミウシやアメフラシをはじめとするその他の貝類、イソギンチャク、などさまざまな生物が観察できます。フィールドに出て生き物に触れてみませんか？皆さまからのご参加お待ちしております。

【場所】 観音崎自然博物館（神奈川県横須賀市鴨居4-1120）

【日時】 2026年5月30日（土） 9:30（9:15受付開始）～14:00頃

※予定は変更になる場合があります

【内容】 磯で生物観察、レクチャーなど

【対象】 4歳以上

【参加費（保険料込）】 小人（中学生以下）500円、大人（高校生以上）1000円

※同伴の3歳以下のお子様は保険料のみ100円

【定員】 40名（先着順、定員に達し次第締め切ります）

【申込締切】 5月8日（金） ※要申込

【申込・問合せ方法】 Web サイト、メール、お電話など

※詳細は Web サイト（<https://rimi.or.jp/event/>）をご確認ください

昨年の観察会の様子

編集後記

今号の表紙写真はシラナミミドリガイ *Thuridilla undula* Gosliner, 1995です。この個体は2cm程度のもので、奄美では久々にみられたそうです。体はより細長く、体色は赤い地色に淡い水色の波打つような模様が入っていて、そのきれいさとインパクトに惹かれました。ミドリガイ類は地味に見えても、細かい模様をもつ種など、生き物の不思議さを感じるような体色を示すものもいて、たいへん興味深いなと思います。

2025年度最後の号になりました。今回は2本の研究紹介の

ほかに、投稿や新刊の情報提供をいただきました。本誌で紹介したい内容などがございましたら、事務局までお知らせいただけますと幸いです。

暖かい日も増え、これから磯での観察会なども増える時期になります。昨年のわくわくウォッチングは雨の中での開催になりましたが、盛況で、参加者の皆さんからは雨でも実施をしてもらえて良かったとお声もいただきました。今年も楽しんでいただけたらと計画をしています。